

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

( 2009 年 1 月 16 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会	主 査 名：山田 幸正 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名： 主 査 名：初田 亨
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国の東洋建築史学の教育と研究および専門家育成に関する調査研究</li> <li>・ 東洋諸国における建築的遺産の保存と修復に関する研究と国際協力への寄与</li> <li>・</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 上野邦一(奈良女子大)、岡田保良(国士舘大)、重枝 豊(日大)、浅川 滋男(鳥取環境大)、稲葉 和也、片桐 正夫(日大)、黒津 高行(日本工業大)、徐 蘇斌、田中 淡(京大)、中西 章(東工大付属工高)、西本 真一(サイバー大)、野々垣 篤(愛知工大)、布野 修司(滋賀県立大)、村松 伸(東大)、山田 幸正(首都大)	
設置 WG (WG 名：目的)	東洋建築史活動情報データベース化WG (目的) 文化遺産国際協力コンソーシアムや日本イコモス国内委員会などと連携しながら、近年の調査・研究・事業などに関する情報について収集するとともに、広く一般にむけての情報発信に努める。 一応の成果をおさめたことにより、今年度をもって廃止した。	
2008 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv. aij. or. jp/rekishi/s2/index. htm">http://news-sv. aij. or. jp/rekishi/s2/index. htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	第一回若手研究者による研究発表会 澤田知香氏(奈良女子大学)「クメール建築における木造建造物の復元的研究」 2008 年 11 月 13 日 建築会館 3 階会議室 参加者数 6 名
大会研究集会	参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2006 年度より鋭意作業を進めてきた「東洋建築史図集」(改訂版)は、これまでに3分の2程度までは完了しているが、一部原稿執筆の停滞のため、当初の刊行予定(2008 年 3 月)を大幅に遅延したまま、停滞した状態に陥っている。 2. 当初予定していた第 3 回公開研究会「アジアの住まい」の開催を延期し、代わりに、新たな企画として、若手研究者による公開発表会の第一回目を開催した。 3. データベース WG の成果として、2007 年度までの東洋建築史分野の学術調査研究論文を一覧化し「文化遺産国際協力コンソーシアム」報告書に掲載した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会出席者に偏りがある。 2. 委員の交替(世代交代)が十分できていない。 3. 一部重要な地域で専門研究者が手薄な状況にある。